2011.8 No.18

加東市 議会だより

6月定例会

平池公園夏のフェスティバル

7月16日に大賀ハスやスイレンが咲く平池公園（加東市東古瀬）で第29回平池公園夏のフェスティバルが開催され、約60の夜店が軒を連ね、総おどりや各種催し、花火大会が行われた。

- 6月定例会 …… 2
- 総務文教常任委員会報告 …… 6
- 産業建設常任委員会報告 …… 7
- 厚生常任委員会報告 …… 8
- 庁舎整備等検討特別委員会報告・議会運営委員会報告 … 9
- 議会報告会 …… 10
- 一般質問 …… 12
- 学校紹介～加東市立福田小学校～ …… 16

東日本大震災被災地を長期的に支援

第36回加東市議会定例会は、6月2日から27日まで26日間の会期で開会した。市長から提案された専決処分の承認2件、繰越計算書及び経営状況の報告6件、平成23年度一般会計補正予算、条例の一部改正、財産取得の6議案を原案のとおり可決した。また、人事案件2件の同意と、市民より提出された請願1件を採択した。

13日には、一般質問が行われ11名の議員が市当局の考えをただした。

専決処分

東日本大震災の被災地支援のため引き続き、派遣に係る人件費や普通トラック（3台）等支援物資の購入に関して緊急を要し、議会を召集する時間的余裕がないため、必要経費1597万5千円の一般会計補正予算を専決処分し議会の承認を得る。

全会一致で承認

被災地へ贈った普通トラック

報告

■繰越計算書

平成22年度各会計予算を平成23年度へ繰り越したため、繰越計算書の報告を受けた。

◇**一般会計**＝市立中学校教室の空調設備工事費他19事業で総額3億485万8千円

◇**水道会計**＝集中監視親局整備工事他2事業で総額1億6596万円

◇**下水道会計**＝河高・高岡汚水管整備工事他2事業で総額6775万2千円

◇**病院会計**＝エレベーター施設更新工事の1704万2千円

■経営状況

（財）加東文化振興財団及び（株）夢街人とうじょうの平成22年度の経営状況について報告を受けた。

（P5参照）

一般会計補正予算（概要）

◇県の子ども医療費助成事業の受給対象が10月より拡大されるため、必要となる事務処理費用と給付費を追加する。

◇有害鳥獣対策として、市が購入する侵入防止柵を実施地区に提供し自力施工により設置する。（延長14km）

◇県が新設した緊急ため池整備事業を活用し、緊急度の高い池の改修工事費を追加する。

◇「交流保養館ぽかぽ」の空調設備を更新する。

◇東日本大震災被災地への支援は、長期化が予想されるため、その必要経費等を追加する。

全会一致で可決

平成23年度　補正予算（専決処分）

（単位：千円）

会計種別	補正額	補正後の額	主な内容
一般会計（1号）	15,975	17,160,975	・震災派遣職員時間外勤務手当2,500千円の増 ・震災派遣普通旅費7,095千円の増 ・震災支援活動用車輌購入費4,617千円の増

平成23年度　補正予算

（単位：千円）

会計種別	補正額	補正後の額	主な内容
一般会計（2号）	61,781	17,222,756	・こども医療費助成システム改修委託料2,999千円の増 ・こども医療給付費4,315千円の増 ・有害鳥獣侵入防止柵購入費24,000千円の増 ・ため池等整備工事費18,100千円の増 ・ため池改修設計委託料3,900千円の増 ・交流保養館空調設備工事費3,675千円の増 ・震災派遣普通旅費1,258千円の増 ・震災支援物資購入費1,000千円の増

小4～小6の通院医療費を3割から2割へ軽減

条例改正

◇国民健康保険税条例の一部改正

・懸案であった資産割を廃止するとともに、医療費給付等の増加に対し、国保制度の運営の健全化を図るため、被保険者の急激な負担増とならないことに考慮し、税率、賦課限度額の引き上げを行う改正案。

この税率等の改正により年間約3700万円（被保険者一人当たり平均約4千円）の増額となる。

【問】資産割を廃止したその背景は。

【答】資産割は、これまでの審議の中で徐々に下げながら平成22年度で廃止する方向であったが、景気の低迷などから一年間据え置きとなった。その間、昨年度に、応能・応益同等の負担割合を廃止する制度改正もあり、今年度より資産割を廃止した。

【問】保険税が北播磨の中で一番高い要因は何か。

【答】国保加入者数が1万人を超すか超さないかで、補助金等の算定基準が違うことが、大きな要因と考えている。

※厚生常任委員会へ付託（P8参照）

賛成多数で可決

◇福祉医療費助成に関する条例の一部改正

・県のこども医療費助成事業に合わせ、小学校4年生から6年生までの通院医療費の自己負担を3割から2割にする改正案。

施行日は、平成23年10月1日。

全会一致で可決

◇臨時又は非常勤の嘱託員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

・県立学校医等の報酬額（基本給）の改定に伴い、学校医の報酬額を年額22万4千円から21万8千円に、学校歯科医の報酬額を年額17万7千円から17万2千円に引き下げる改正案。

全会一致で可決

財産取得

◇小型動力ポンプ付積載車等購入の件

・17年以上経過した小型動力ポンプ付積載車3台（畑分団、久米分団、松沢分団）及び積載車1台（上鴨川分団）を更新する。

制限付一般競争入札

11社参加

契約金額

1656万9千円

契約の相手方

（有）岡本ポンプ

全会一致で可決

人事案件

◇加東市監査委員の選任に同意を求める案件

高橋優氏（久米）

賛成多数で同意

◇人権擁護委員の推薦に同意を求める案件

藤本興野氏（岡本）

全会一致で同意

請願

◇新庁舎建設に関する住民説明会開催に関する請願

【請願理由】新庁舎建設に関して、住民へのさらなる情報提供が必要であると考えるため。

※庁舎整備等検討特別委員会へ付託（P9参照）

全会一致で採択

平成23年度　加東市国民健康保険税率及び限度額

	基礎課税額分（医療費給付費分）		後期高齢者支援金等課税額分		介護納付金課税額分	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
所得割額の税率	6.20%	6.64%	2.40%	2.62%	1.92%	2.10%
資産割額の税率	7.70%	-	2.70%	-	2.90%	-
被保険者均等割額	25,000円	26,600円	8,300円	9,900円	9,400円	10,200円
世帯別平等割額	特定世帯以外の世帯				5,300円	6,000円
	19,800円	21,500円	6,600円	7,600円		
	特定世帯					
	9,900円	10,750円	3,300円	3,800円		
賦課限度額	500,000円	510,000円	130,000円	140,000円	100,000円	120,000円
1人当り調定額	63,302円	64,304円	21,872円	23,549円	23,981円	25,330円
差額	1,002円		1,677円		1,349円	
1人当り調定額合計	113,183円（平成22年度比　4,028円増）					

※特定世帯＝後期高齢者医療制度の適用により、国民健康保険の被保険者が後期高齢者に移行し、被保険者が1人となる世帯。

報告

（財）加東文化振興財団の経営状況

（財）加東文化振興財団が指定管理者となり運営を行っている「やしろ国際学習塾」「滝野文化会館」「東条文化会館」の決算報告と事業状況の説明を受けた。

平成22年度 収支計算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日まで　（単位：円）

科目	決算額	備考
Ⅰ　収入の部		
1 基本財産運用収入	8,993,750	基本財産運用利息収入
2 特定資産運用収入	113,800	特定資産運用利息収入
3 会費収入	1,300,000	法人（10,000）7件　個人（1,500）820件
4 事業収入	133,576,869	
自主事業収入	13,518,700	チケット売上収入
施設管理運営受託事業収入	80,651,169	3館の指定管理料収入（加東市より）
文化事業開催受託事業収入	27,000,000	文化事業開催委託料　（加東市より）
受講料収入	7,233,000	音楽教室･バレエ受講料
参加費等その他事業収入	5,174,000	木管コンクール･ベートーベン第9特別演奏会参加費
5 補助金等収入	2,080,000	（財）地域創造補助金･木管コンクール協賛金
6 雑収入	411,784	預金利息･コピー使用料･物販手数料等
7 基本財産取崩収入	85,008	
当期収入合計（A）	146,561,211	
前期繰越収支差額	22,097,818	
収入合計（B）	168,659,029	
Ⅱ　支出の部		
1 イベント・セミナー等の開催事業費支出	54,460,822	イベント･セミナー等の開催事業費支出
2 施設管理運営受託事業費支出	82,623,368	人件費･修繕費･光熱費･委託料･通信運搬費
3 管理費支出	413,390	
当期支出合計（C）	137,497,580	
当期収支差額（A）－（C）	9,063,631	
次期繰越収支差額（B）－（C）	31,161,449	

加東市誕生とともに歩み、市民の皆さまに親しまれる地域に根ざした文化ホールを目指し、運営・管理を続けている財団法人加東文化振興財団も、指定管理２期２年を迎える。

■施設の利用状況■

（　）は昨年度値

施設名	使用日数（回）	利用者数（人）
やしろ国際学習塾	649　(657)	29,806 (30,662)
滝野文化会館	336　(284)	21,510 (17,233)
東条文化会館	491　(556)	20,012 (20,349)

平成22年度 決算報告書（損益計算書）

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで　（単位：円）

科目	金額	
【売上高】		176,351,877
【売上原価】		
期首棚卸高	2,953,061	
仕入高	119,611,928	
合計	122,564,989	
期末棚卸高	2,897,871	119,667,118
売上総利益		56,684,759
【販売費及び一般管理費】		55,475,257
営業利益		1,209,502
【営業外収益】		
受取利息	61,197	
雑収入	2,328,120	2,389,317
【営業外費用】		
支払利息・割引料	45	
雑損失	9,015	9,060
経常利益		3,589,759
【特別損失】		
特別償却	1,530,000	1,530,000
税引前当期純利益		2,059,759
法人税等充当額		709,570
当期純利益		1,350,189

報告

(株)夢街人とうじょうの経営状況

道の駅とうじょうの指定管理者となっている「(株)夢街人とうじょう」の経営状況について報告を受けた。

■平成22年度利用状況■（　）は昨年度値

施設名	営業日数	利用者数（人）
特産館	322(318)	64,625（ 65,761）
レストラン	362(361)	53,904（ 57,356）
コンビニ	365(365)	200,361（184,103）
合計		318,890（307,220） （前年比 103.8%）

※特産館、コンビニはレジ回数、レストランは実客数

■会社の概況■（平成23年3月31日現在）

(1) 発行済み株式の総数　400株
(2) 株主数　6
(3) 株主と出資状況

株主名	出資状況	
	持株数	持株比率
加東市	200	50.0%
加東市商工会	40	10.0%
みのり農業協同組合	100	25.0%
兵庫県釣針協同組合	20	5.0%
東条農業者連合	20	5.0%
有機栽培コスモス会	20	5.0%

第36回　加東市議会定例会議決結果一覧

◆承認を求める件（全会一致で承認）

承認第2号……専決処分の承認を求める件（平成23年度加東市一般会計補正予算(第1号)）
承認第3号……専決処分の承認を求める件（加東市税条例の一部を改正する条例制定）

◆報告の件

報告第1号……平成22年度加東市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告の件
報告第2号……平成22年度加東市水道事業会計予算繰越計算書の報告の件
報告第3号……平成22年度加東市下水道事業会計予算繰越計算書の報告の件
報告第4号……平成22年度加東市病院事業会計予算繰越計算書の報告の件
報告第5号……財団法人加東文化振興財団の経営状況の報告の件
報告第6号……株式会社夢街人とうじょうの経営状況の報告の件

◆全会一致で可決、同意、採択した議案

第41号議案……平成23年度加東市一般会計補正予算（第2号）
第42号議案……加東市職員互助共済制度に関する条例及び加東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第43号議案……加東市臨時又は非常勤の嘱託員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第45号議案……加東市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第46号議案……小型動力ポンプ付積載車等購入の件
同意第3号……人権擁護委員の推薦の件
請願第23－2号…… 新庁舎建設に関する住民説明会開催に関する請願

◆賛否の分かれた議案

○‥賛成　×‥反対

議案		長谷川幹雄	石井雅彦	岸本眞知子	石井正敏	小川忠市	小紫泰良	磯貝邦夫	藤尾潔	安田朗	長谷川勝己	藤原文悟	桑村繁則	丸山武彦	山本通廣	二階一夫	井上茂和	藤田靖夫	志方勉	議決結果
第44号議案	加東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成多数 原案可決 (賛16・反1)
同意第2号	加東市監査委員の選任の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	欠席	○	○	○	賛成多数 原案可決 (賛15・反1)

テレビ大阪 デジタル放送開始へ!!

総務文教常任委員会

6月3日に委員会を開催し、所管事務調査を行った。

所管事務調査

◆テレビ大阪について

企画部地域情報センターから再送信のための説明を受けた。

経過

・平成23年4月15日
総務省へ施設変更許可申請

・平成23年4月28日
総務省へ業務開始変更届提出、同日受理

・平成23年5月22日
テレビ大阪試験放送開始

地域情報センター内のモニター

市民への周知

5月26日から市のホームページにチャンネル設定の方法を掲載。

5月30日からチャンネル設定の方法をケーブルテレビの番組でお知らせ。

市広報かとう7月号でチャンネル設定の方法を掲載。

■6月1日からテレビ大阪の本放送開始

【問】高齢者の方への配慮はされているか。

【答】電話での対応をし、またパンフレットを作成している。それでも無理な場合は職員の派遣を検討していく。

◆教育委員会から平成22年度主要事業の点検と評価について説明を受けた。

・教育総務課

新学習指導要領への移行に伴い、理科・数学・外国語・武道・和楽器の小中学校教材備品を購入した。今後、物品の活用状況の把握や検証を行っていく。

学校施設の耐震補強工事及びエレベーター・防犯カメラ・転落防止柵等の学校施設の整備を行った。

その結果、学校施設の耐震化率100%を達成した。

加東市教育振興基本計画を策定し、基本目標「学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東市に!」の実現をめざす。

・学校教育課

小学校4年生を対象とした「加東遺産」めぐりの旅では、事前に10遺産をすべて学習した上で、3つ以内の遺産を実際に見学し、加東遺産のすばらしさの再発見に努めた。

不登校対策委員会を開催し、教職員の研修により不登校対策についての理解を深めるとともに、小中学校の情報交換と取組の一体化を進め、不登校の未然防止に努めた。

平成19年度をピークに、小・中学生ともに不登校生が減少している。

【問】中学校の不登校は減少に転じているが、現時点の不登校はどれぐらいか。

【答】まだ年度当初ということもあり、不登校対象の30日以上の生徒はいない。

加東遺産 安国寺本堂（新定）

・人権教育課

人権啓発ビデオを市独自で製作し、人権意識の高揚をはかり、人権尊重のまちづくりを進める。

・生涯学習課

生涯学習や市民スポーツ等を通じて学習や体験をする機会を提供し、多種多様な生きがいを育み、市民が有意義で活力に満ちた人生が送られるよう支援する。

また、成人式においては、大人としての義務や責任を認識し、自分たちで創る成人式を定着させた。

・中央図書館

市民の「読みたい」「知りたい」「楽しみたい」といった生活要求に対し、資料提供等で応え、知る権利を保障することを基幹業務として位置づけた。

◆公金管理について会計課から説明を受けた。

公金運用の透明性を高めるため、加東市公金の管理及び運用に関する基準の15条と17条に議会への説明と報告の文言を追加した。

6月21日に委員会を開催し、電算システム更新業務委託について総務部より説明を受けた。

事務調査内容

電算システムの更新時期が近づいてきたため、プロポーザル方式にて業者を決定した。

審査結果

（株）さくらケーシーエス

決定価格

2億5250万円（税抜き）

（初期導入費、サーバー等中枢機器類購入費、5年間のシステム使用料及び機器保守料を含む。）

※参考＝過去5年間でシステムに費やした費用は、6億7300万円。

稼動日は、来年の4月2日の予定。

県から加東市へ米の生産数量目標示される

産業建設常任委員会

所管事務調査

4月27日に委員会を開催し、所管事務調査として、上下水道及び稲の作付面積について、当局から説明を受けた。

◆稲の作付面積と農家への配分について

兵庫県から加東市へ示された生産数量目標をもとに、平成22年産配分の面積割合で3地域に面積按分し、その後、地域ごとに集落配分するとの説明を受けた。

◆加東市における農業再生協議会設置について

平成23年度から本格実施される農業者戸別所得補償制度に対応するため、現在活動している「水田農業推進協議会」「担い手育成総合支援協議会」を整理・統合し、「農業再生協議会」を設置する。

陳情審査

6月6日に委員会を開催し、継続審査となっていた「TPPの参加に反対する陳情」の審査及び国・県道整備の進捗状況と今後の見込みについて、当局から説明を受けた。

TPPの参加に対する陳情は、慎重審査を要するため継続審査に決定する。

平成23年産米の生産調整について

1.生産数量目標について

国から兵庫県に対する生産数量目標は、190,970t（前年比 △2,040t）、面積換算値　37,890ha（前年比 △410ha）である。

兵庫県から加東市に対しては、次のように生産数量目標等が示された。

(1) 兵庫県から加東市への生産数量目標
8,190,780玄米kg　（前年比 △71,270kg）
1,648.044ha:面積換算値（前年比 △2,105.7a ）

(2) 生産数量目標に対する面積を算出するための基準単収
497kg／10a　（前年比 +2kg/10a）

2.農家への配分について

地　域	数　量（kg）	面　積（a）
社	4,562,261	91,796.0
滝　野	1,072,994	21,589.4
東　条	2,555,525	51,419.0
加　東　市	8,190,780	164,804.4

農業再生協議会

総会会員

JAみのり / 区長会 / 消費者協会 / 方針作成者連絡会 / 加東市 / みのりJA女性会 / 農業委員会 / 兵庫県東播土地改良区 / 農会長会 / 小野加東広域事務組合 / 農地利用集積円滑化団体

担い手部会

集落営農組織連絡会 / 認定農業者協議会

◆国・県道整備の進捗状況と今後の見込み

事　業　一　覧　表

番号	路　線　名	事業箇所	事業延長	事業概要	平成23年度事業内容	備　考
1	国道372号 野村河高バイパス	河　高	2,290m	バイパス事業 車道W=6.5m 歩道W=4.5m	跨線橋工事（JR委託） 本工事　L=200m	JR協議中 少し遅れる 平成24年度 供用開始予定
2	小野藍本線 天神バイパス	天神～掎鹿谷～長貞	1,018m	バイパス事業 車道W=6.0m 歩道W=3.5~4.5m	橋梁上部工　1基 本工事　L=200m	平成25年度 完了を目指す
3	小野藍本線 松沢バイパス	松　沢	970m	バイパス事業 車道W=6.0m 歩道W=2.5m	用地買収	平成21年度 着手 平成30年度 完了見込み
4	小野藍本線	厚　利	640m	現道拡幅事業 車道W=6.0m 歩道W=2.5m	用地買収	平成28年度 完了見込み
5	神戸加東線	大　畑 （～小野市池田町）	1,090m	バイパス事業 車道W=6.0m 歩道W=2.5m	橋梁上部工 2基（内、小野市域 1基） 本工事　L=200m 文化財調査（小野市域）	平成24年度 暫定供用開始予定 交差点部分を暫定とする
6	国道372号	木梨～藤田	1,100m	歩道設置事業 歩道W=3.5m	用地買収	
7	西脇口吉川神戸線	牧野～上三草	375m	歩道設置事業 歩道W=2.5m	用地買収 本工事　L=260m	平成22年度 着手 平成23年～平成24年度 完了見込み
8	東古瀬穂積線	社	270m	歩道設置事業 歩道W=2.5m	道路詳細設計委託	平成23年度 新規事業

国民健康保険税率の資産割廃止へ

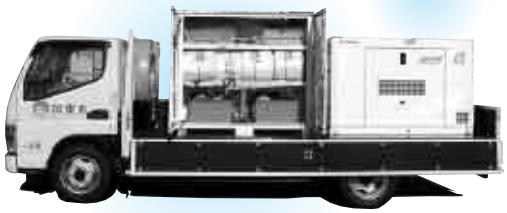
厚生常任委員会

4月22日に委員会を開催し、所管事務調査として防災対策について当局より説明を受けた。

所管事務調査

◆加東市の防災対策について調査

・震災と風水害の市内発生時、県内発生時、広域発生時における対応
・震災発生時と風水害発生時の配備体制と配備基準
・水防本部組織図（風水害対策）と指揮系統
・備蓄物資の状況
・応急対策業務協定等の団体



排水ポンプパッケージ積載車

5月13日に委員会を開催し、介護保険関係の特別会計と国民健康保険特別会計の平成22年度決算見込みを調査した。

さらに、「ラポートやしろ」と「ケアホームかとう」の施設視察を行った。

所管事務調査

◆平成22年度決算見込み

介護保険サービス事業特別会計

・歳入歳出＝4億3990万円（前年度比96・6％）

介護保険保険事業特別会計

・歳入＝26億9133万円（前年度比104・6％）
・歳出＝26億6678万円（前年度比105・7％）

国民健康保険特別会計

・歳入＝37億2961万円（前年度比102・1％）
・歳出＝36億1331万円（前年度比101・5％）

※歳入歳出差額の1億1630万円は、1／2以上を基金へ積立てる。残額は、平成23年度へ繰り越す。

◆現地視察における委員の主な指摘

ラポートやしろ

・トイレを洋式に変更し、手すり等の設置を検討すること。
・利用者と市職員との動きが混雑しないよう改善検討すること。

ケアホームかとう

・利用率向上のために部屋の改修等を検討すること。
・施設運営に指定管理者制度の導入を検討すること。

付託議案審査

◆加東市国民健康保険税条例の一部改正

6月9日に委員会を開催し、本議会初日に審査を付託された国民健康保険税条例改正案の審査を行った。

◇主な改正要因と概要

①被保険者の所得低下により所得割額を前年度と同税率とした場合、約1000万円の減収となるため。

②平成22年度の医療費給付額が前年度比で約3％の伸びとなったため、今年度の医療費の伸びを3％と見込むため。

③固定資産税をもとに賦課され、従来から重複課税の感があるとの苦情があった資産割を廃止するため。

④平成22年度の収納率の見込みが約93％となったことから、今年度も収納率を93％と見込むため。

⑤後期高齢者支援金分が前年度比2781万2千円の増額となるため。

⑥介護給付費給付金が前年度比1590万1千円の増額となるため。

※平成23年度の税額については、繰越金や財政調整基金、一般会計からの繰り入れ金等約1億円を充当し、税の増額を抑えた。

【問】国民健康保険運営協議会ではどのような議論が交わされたのか。

【答】資産割廃止に伴う所得割の負担増に対する懸念があった。資産割廃止分全てを応能割で対処することで応益割にも転嫁できる旨を説明した。

【問】今回の資産割の廃止に伴い、資産割がかかっていない世帯は、約8・7％以上アップとなるが、その方々の意見は反映されているのか。

【答】所得割が中心となるため、所得の多い方にご負担を願うこととなるが、現状ではやむなしという考え方である。

【問】一般会計からの繰り出しについては、問題点が指摘されているが。

【答】国保の運営上いたし方がないところだが、市としても一般会計からの繰り入れに関しては課題意識を持っている。

賛成討論

懸案であった資産割の廃止が実現し、所得割だけの方に関しては負担感が増すわけだが、一般会計からの繰り入れ額も一定の配慮はなされている。ただ、近隣の市町に比べて、医療給付費が少ないのに、国・県等からの歳入面で大きく違いがあることは課題だ。調査・研究して、市民に対する負担を減らしていくよう努力すべきと指摘し賛成とする。

採決結果

全会一致で可決

新庁舎の基本・実施設計に着手

庁舎整備等検討特別委員会

6月9日に委員会を開催し、所管事務調査と本会議初日に付託された請願の審査を行った。

所管事務調査
加東市新庁舎建設工事基本・実施設計作成業務委託に係るプロポーザルについて

◆実施日程
・4月6日　実施公告
・4月18日　参加表明書の提出期日（6者から提出）
・4月19日～21日　一次審査
・4月25日　一次選定通過者の決定及び結果通知（通過者6者）
・5月23日　企画提案書の提出期日（6者から提出）
・5月24日～30日　二次審査
・5月30日　ヒアリング審査（参加数6者）
・6月1日　委託候補者の決定及び結果通知

◆委託候補者に対するプロポーザル審査委員会の意見
○事業費、維持経費の縮減を目指す提案となっている。
○省エネルギー対策に力を注いでいる。
○メモリアルガーデン及び周辺施設との一体的な整備計画の提案となっている。

◆決定業者
（株）梓設計大阪支社

◆決定価格
5450万円（税抜き）

請願審査
新庁舎建設に関する住民説明会開催に関する請願

【趣旨】新庁舎建設に関して、当局による住民説明会を開催するよう求める。
【理由】庁舎の建設場所や建設費用の変更を住民に説明するべきであり、住民が納得してできた新庁舎であると感じる庁舎になってほしい。そのために、新庁舎に関して、住民へのさらなる情報提供が必要であると考えるため。

請願者への主な質疑・答弁
【問・委員】市政懇談会後に状況が変わってきたことはご承知だったか。
【答・請願者】市からの説明は一切なく状況も変わっていないと認識していた。
【問・委員】市の方ではケーブルテレビやパブリックコメントなどいろいろな形でお知らせしたがご存知であったのか。
【答・請願者】非常に不親切なパブリックコメントの募集の仕方だと強く思った。

賛成討論
市としては、今後いろいろな形で必要に応じて説明すべきである。また、請願に対して真摯にこたえていく、これが議会の努めであると考え採択すべきである。

採決結果
全会一致で採択

新庁舎建設予定地

議会運営委員会

6月17日及び27日に委員会を開催し、所管事務調査を行った

◆政務調査費の交付に関する条例制定について
継続して検討してきた結果、予定どおり「報酬審議会」に諮問することになった。

◆会派について、地方議会研究会の資料を配布し検討
・会派の性格
・会派の長所・短所
・会派の法令規定
・一人会派を認められるか
・所属政党の異なる議員で会派を結成できるのか
・議会で会派が基礎となる事項

◆9月定例会日程（予定）
9月2日～22日の21日間開催することに決定する。
また各常任委員会は左記のとおり開催し所管事務調査を行う。
5日＝総務文教常任委員会
6日＝厚生常任委員会
7日＝産業建設常任委員会

◆情報公開の一環として
委員会では議会・委員会のCATVでのライブ中継やネット中継について準備を進めていたが、この度、委員会の「インターネット中継実施要領」を定めネット配信が出来るようになった。ご期待下さい。

◆政務調査について
議会では、当面する課題や今後の市政運営・施策等に反映させることを目的として、先進地の事例などを調査研究するため全議員で行政視察を行う。
3常任委員会委員長より提案された意見を協議し視察先・視察テーマ等を決定し、視察先市との日程交渉を行っている。

◆サマーエコスタイルの実施について
実施期間（5月23日～10月31日）
・ノーネクタイとする。
・上着を着用しない。
（但し、10月は気温により着用してもよい）

議会報告会を開催しました。

加東市議会基本条例制定後初めての議会報告会を、5月19日に東条会場（とどろき荘）、20日に社会場（多目的研修館）、21日は滝野会場（滝野図書館）にて開催した。

基本条例では、この報告会を「議会自らが積極的に地域に出向き、直接、市民に対して議会活動の状況を報告し、市政に関する情報を提供するとともに、市民の関心や意見を直接お聞きする貴重な機会と位置付けて実施する。」と規定している。

今回、各会場で頂きました、ご意見、ご質問につきまして主な内容を左記に掲載しました。なお、理事者へのご質問やご要望に関しましては、理事者の答弁を聞いた上で、議長名にて個別にお返事させていただいております。また、当日のアンケートの結果についてもご報告させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

議案説明に関する質疑応答

【問】行財政改革の観点から公務員の給与カットが強いられている中、特別職の月額報酬の4％カットの提案はなぜ否決されたのか。

【答】報酬削減額としては、年間約１１０万円であり、行財政改革の観点からすれば、それ以上の項目があるはずで、まずは、当面の課題等を解決した後に必要に応じて削減すべきであるとの反対討論がありました。

なお、今後、再度上程されればしっかり議論をしていきたいと考えております。

【問】地域整備部の稲の転作率について、社地域の差が大きい事について詳しい説明を求める。

【答】社地域の転作率は、平均37・6％、種子生産地は０％、転作率の低いところは32・4％で、高いところは42・0％となっていたが、高いところも調整の中で41・0％に抑えたと報告を受けています。

意見交換による質疑応答

【問】新庁舎建設費について、市政懇談会では24億円と説明があったが、その後、32億円に増加した理由は。

【答】当初に先進地の事例を参考に概算を算出しましたが、その後、耐震性等考慮した結果、アップしました。ただ、32億円に決定したものでなく、今後の実施設計の中で、詳細に検討し、極力費用の節減に努めるとの報告を受けています。

【問】新庁舎延べ床面積が９０００㎡になっているが、適正な面積と考えているのか。

【答】理事者からは、保健機能や福祉機能を含め、概算時点は最大で９０００㎡になっているが、今後、実施設計の中で面積の絞り込みに努めると報告を受けています。

【問】新庁舎に社会福祉協議会の事務所が入ることが計画されているが、考え方を教えてほしい。

【答】基本計画の中においては、社会福祉協議会の事務所が新庁舎に入るような計画はありません。

【問】新庁舎建設の入札に関する件で、基本計画に係わった業者を基本・実施設計の入札に参加させるのはおかしいのではないか。

【答】予算特別委員会でも指摘しました。理事者からは、基本計画策定業者が、基本・実施設計の入札に参入することについては問題ないと答弁を受けております。

【問】建設予定地の中央体育館は、耐震構造ではないのか。また、国の補助金を受けているものを中途で取り壊すと返金をしなければいけないのではないか。

【答】対象の施設は、耐震構造でありません。また、建設費補助金については、合併した市町村については返金の必要はありません。

【問】ある議員が配布したチラシに、米の生産調整は、旧三町間で不公平感があると記載していたが、東条地域の山田錦特Ａ地区には、過去の経緯があることを知っているのか。水田協議会において東条地域の作付け面積を１％下げる条件で、今後は協議をしないと当局からは説明があったが、どのように認識しているのか。

【答】山田錦の生産調整は平成16年に減反率の変更が行われていることは認識しています。東条地域のうち米と山田錦については、水田協議会において生産調整が行われております。

昨年の水田協議会において、「１％下げることにより平成23年度は見直さないが、その後については必要に応じて水田協議会を経て議論をしていきたい。」との協議会会議録があります。

※この他にも議会に対し叱咤激励等諸々のご質問や要望等を頂きました。今後とも、「開かれた議会」を目指し議会活動に反映していきたいと考えております。

■ 第一回　議会報告会アンケート■

H23.5.19~5.21

Ⅰ.開催状況及び集計結果

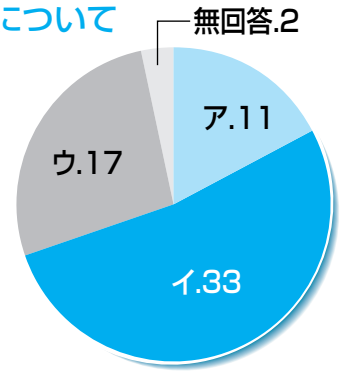
開催日	場　　所	出　席　者	アンケート回収総数	うち無回答
5月19日	と　ど　ろ　き　荘	４０名（市外４名）	３０通	２通
5月20日	社多目的研修館	２６名（市外５名）	１７通	
5月21日	滝　野　図　書　館	２１名	１９通	２通
計		８７名（市外９名）	６６通	４通

Ⅱ.設問及び回答

1.報告会の内容について

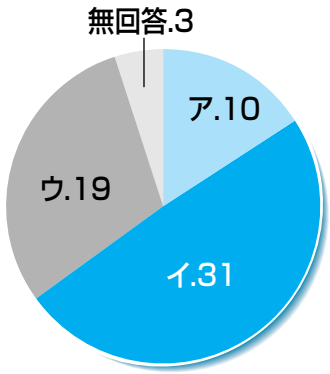
① 報告の内容

ア.わかりやすい
イ.どちらともいえない
ウ.わかりにくい



② 質問に対する答弁の内容

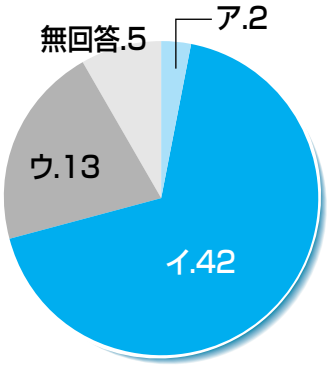
ア.わかりやすい
イ.どちらともいえない
ウ.わかりにくい



2.時間について

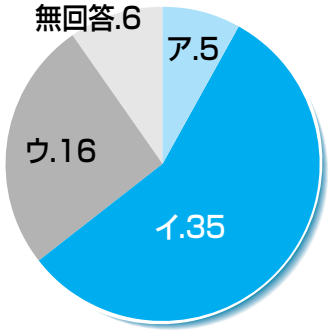
① 報告の時間

ア.長い
イ.ちょうどよい
ウ.短い



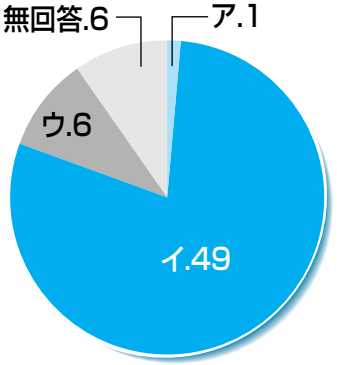
② 質疑の時間

ア.長い
イ.ちょうどよい
ウ.短い



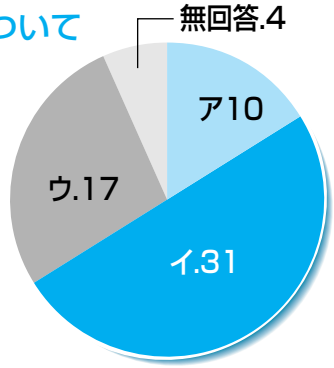
③ 開催時間

ア.早い
イ.ちょうどよい
ウ.遅い



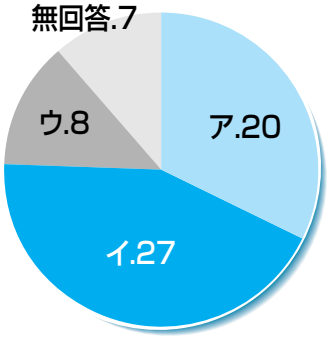
3.資料の内容について

ア.わかりやすい
イ.どちらともいえない
ウ.わかりにくい



4.評価について

ア.評価できる
イ.どちらともいえない
ウ.評価できない



【自由記述欄の主なご意見】

- 賛否の分かれた議案については、表等でもう少し説明を加えて欲しい。
- 第一回ですので、だんだんと良くなっていくのではないかと思う。引き続いて報告会を続けてほしい。議会の積極姿勢に期待する。
- この議会報告会を、定例議会後にその都度開催すべきだと考える。
- 議会への要望と行政への要望を区別すべき。
- 議会報告会の参加者をもっと増やすべき。
- 議決内容の報告であれば、「議会だより」の充実で十分ではないか。
- 議会報告会の実施目的が不明確である。行政への要望等が混在しており今後、改善すべきと思う。

東日本大震災を受けて 加東市の災害対策の対応について

小紫　泰良

問 **加東市において想定される山崎断層地震の規模、震度、被害、住民の避難、災害用備蓄について。**

また、加古川水系で想定される最大降雨量があった時の被害について、東日本大震災を受け、災害想定を厳しくし、対応を再検討するのか。

答 山崎断層地震は、兵庫県の想定を元に、地域防災計画において地震被害想定対処地震としてマグニチュード7・7、加東市では一部地域で震度6強、家屋の全半壊が約1030棟を想定している。兵庫県では、東日本大震災だけでなく、最近の地震をもとに大きく被害想定を見直すことになっている。加東市も県の想定をもとに見直しを進めていく。

加古川水系の対策については、水防警戒態勢の配備基準を、西脇市板波の水位1・5メートルから1メートルの早い段階にする。水防第1号配備を同じく2メートルから1・5メートルにして、すでに4月から運用している。風水害対策については、気象情報等を総合的に判断して早期に災害対策本部を設置するなど、警戒態勢を整える。

加東市第2次行財政改革について

小川　忠市

問 **第2次行財政改革大綱で『第1次行財政改革において、職員数適正化や基金増額などでは一定の効果を得た。しかし、民間委託の推進や同種の公共施設の適正化などの課題も数多くある。』と記されているが、行財政改革実施項目の具体的な取り組み方法を問う。**

答 公共施設の適正化においては公共施設マネジメント白書を基に取り組む。市税や使用料等の滞納対策等は、各種収納対策マニュアル等に沿って厳正に取り組む。

また、今年度終了後に、現状との差異を中間報告として取りまとめ、実施内容をローリングしていく。

まちづくり提案について

問 **行財政改革推進委員会より、若手職員の意見が反映できる仕組みづくりや職員の士気高揚に関する組織運営等の「まちづくり提案」についての対応と取り組みを問う。**

答 委員会からの「まちづくり提案」を真摯に受け止め、その対策や具体的取り組み事項についての検討を担当部署に指示した。

検討段階ではあるが、世代交代を進め、職員の士気が高揚する組織づくりに役立てたい。

加東市行財政改革大綱

ふれあいバス(仮称)運行について

二階　一夫

問 **公共交通空白地及び移動制約者等への、必要な移動を保障する仕組みづくりが求められている。**

固定されたバス停ではなく、加東市内なら自由に起終点が選べるフリー乗降、すなわち玄関から玄関への運行を、交通弱者のために前向きに新しい交通サービスとして取り組むべき大きな課題であるが、市長の考えを問う。

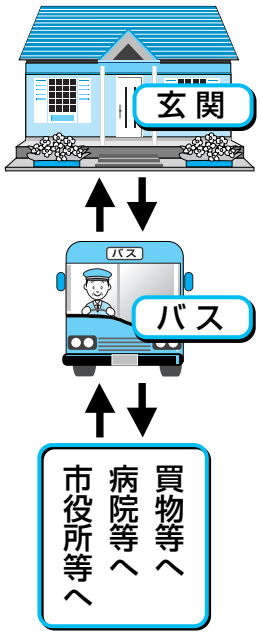
答 加東市地域交通会議の提言書に基づいて取り組みをしている。

昨年の市政懇談会でのアンケート結果を参考に、現在、米田、鴨川両小学校区において自主運行バスを走らせる方向で取り組みを進めている。

玄関から玄関への運行については、費用等諸問題があり、これまでどおり福祉タクシーを利用していただきたい。

その他の質問

□公共交通会議のあり方について



下水道における未水洗化の解消について

志方　勉

問 **加東市の下水道の水洗化率は、約90%であり、残りは未だ汲み取り便所のままの状況にある。また、地区間でも、水洗化率が100%の地区がある反面、約60%と低い地区も見受けられる。**
下水道法では、下水道が整備された区域は、建物が近く除去される場合等を除き、3年以内に水洗便所に改造しなければならないと定められている。このため、未水洗化の解消に向けた市の取り組みを問う。

答 平成21年度に、水洗化推進業務をシルバー人材センターに委託し、2974件の未水洗化住宅の戸別訪問を実施し、一応の成果があった。
今後も、引き続き水洗化の推進を図るため、職員による戸別訪問を実施し、公共用水質の保全、周辺環境の改善に対する理解を求めていきたい。
また、一定期間をおいた時点では、再度、委託も必要であると考えている。

下水処理施設オアシス川北（吉井）

加東市民病院の将来のビジョンについて

岸本眞知子

問 **近隣地域では、市民生活において必要不可欠な医療機関・医療設備の充実を図っているが、加東市民病院は赤字経営で建て替えもままならない状況で、現状維持のままなのか、市の方向性と将来のビジョンを問う。**

答 現状の施設を利用する中に「急性期医療」というものを第一に考えていくのが財政的な収支の確保に結びついていくと考える。県が進める北播磨の「地域医療再生計画」において、ひとつの病院で完結していた医療から医療圏全体で医療提供する地域完結型医療の中における加東市民病院のビジョン計画を作成する必要があるととらえている。

兵庫教育大学等との連携について

問 **近隣市町にない兵庫教育大学や播磨看護学校の教育機関が隣接しているが、今後、医療関係育成機関としての充実を図りながらの市民病院との共生を検討してはどうか。**

答 兵教大との連携が可能であれば、今後そういう分野についても検討を進めることも加東市民病院にとっては良い方向性と受け止める。

その他の質問

□新庁舎建設について

加東市民病院

地区、地域防災の要　消防団の今後のあり方について

安田　朗

問 **3月11日に起こった東日本大震災を期に、日本全体で防災への気運が高まっている中、消防団の活躍、活動が一段と注目されている。**
市内では、団長以下、75分団、1200名余りの団員で地区、地域の防災に当たって頂いている。しかし、最近の少子化や若者の流出など、また、消防団活動そのものが理解されないため、多くの分団で新入団員の加入、定員の確保に苦慮している。
入団に適齢な若者が大変少ない現状では、組織の再編、活動のあり方を見直す時期にきているのではないか。

答 消防団は地域の実状に即した活動のできる大変重要な組織と考えている。
消防団活動への理解を得るため、ケーブルテレビなどで消防団の魅力を紹介し、成人式や若者が集うイベントを通して加入促進を行っていく。
小規模分団にあっては今後の活動が困難になってきた時、組織の統合、再編が必要か地区及び分団と協議する。

消防操法大会

公共交通における（交通権）すなわち誰でも移動できる権利からみての平木地区での三田方面へのバスの減便について

磯貝　邦夫

問 **平木地区の三田方面のバス減便についてとオンデマンド新交通システム（いつでも誰でも目的の場所にいける）の導入について。**

答 平成23年10月までには再開したいと神姫グリーンバスから回答を得ている。

また、オンデマンド交通システムについては調査研究していきたい。

その他の質問

□米の生産調整について

□障害者の就労支援について

社市街地における道路整備について

藤田　靖夫

問 **社環状線は、小学校をはじめ中学校・高等学校の通学路であり住民にとっても大切な道路で歩行者が多い道路であるが、歩道が狭く、傷みがひどいため危険である。**

子ども達や高齢者が安心して通行できるよう歩道の整備が必要である。

また、赤岸交差点と道池交差点の拡張工事が緊急の課題であると思うが、当局はどの様に考えているか。

答 社環状線の松尾交差点から道池交差点に至る部分は、国道で県の管理となっている。

道池交差点から赤岸交差点までは市道となっており、この間の歩道で危険な箇所があることは承知している。

また、赤岸交差点の改修工事については、平成21年9月に県土木、市、警察署、地元区長と現状確認をしている。

交差点整備には多額の費用を要するが、引き続き県土木と交渉していく。

国道372号線は、平成24年度末までの全面開通に併せ、環状線は、県管理から払い下げられ市道として市の管理になる予定である。市道移管に併せて県に改修・補修を要望し、現在その調整中である。

通学路（赤岸交差点）

節電対策について

石井　雅彦

問 **今年の夏は、原発事故の影響でエネルギー不足が懸念され、県では夏のピーク時に15％の節電をめざしているが、加東市はどういう具体的な対応を考えているか。**

答 市では、毎週水曜日を「ノー残業デー」として定時での退庁を勧めているが、更なる徹底をはかるとともに、例年のクールビズ対応期間を本年は5月20日から10月末日まで延長して取り組みを進める。

また、以前から電気使用量の削減を目標に、トイレや廊下の間引き点灯、執務室の昼休み時間帯の消灯を行ってきた。

さらに、各庁舎で点検し徹底するとともに、夜間の室内灯の削減、街灯の点灯時間の短縮、執務室の始業時刻からの点灯、終業後のすみやかな消灯、冷暖房設定温度での運転の徹底、パソコンの待機電力の削減、自動販売機の照明の消灯、グリーンカーテンの実施など、できることから取り組みを広めていきたい。

その他の質問

□太陽光発電の更なる取り組みについて

庁舎の間引き点灯

水道未普及地域解消について

長谷川幹雄

問 **水道の安定供給と公営化に向けて、市の取り組みの現在の状況を再度問う。**

答 旧三町の給水区域を加算して、給水区域を拡張し水道事業を統合するために平成19年度に認可変更の申請をした。

今回の水道ビジョンについては、合併による旧三町の水道事業を一本化することが目的であり、個別地区には触れてはいない。よって申請前に給水区域の拡大について嬉野東自治会と話し合いを持ったことはない。

新たな開発への給水施設は、3月議会での答弁のとおり、加東市水道条例に基づき開発者が負担することとなっている。しかし、現実に水の確保に非常に苦慮されている状況は十分承知している。国・県では、現在の補助事業には色々な制約があり、現在の補助制度の中では、嬉野東自治会が補助対象になることが非常に難しい状況にある。

旧社町内の事例に関しては、施設整備の研究等もさらに進めていき、別の手法が無いか、国・県また、地元自治会とこれまで以上に協議を進めていく。

その他の質問

□地籍調査の迅速な実施ついて

嬉野東自治会の貯水タンク

防災体制の強化について

藤尾　潔

問 **消防団の出動手当の単価について、加東市における支給額と国から財政措置されている額はいくらか。**

答 加東市における出動手当は、出動一回当たり一人100円、ポンプ持参分団1団当たり500円、放水分団1団あたり2千円となっている。

国の出動手当に対する財政措置額の単価は承知していない。

問 **消防庁からは、出動一人一回7千円の単価で措置していることが公表されている。100円と7千円、消防団はボランティアでやっていただいているとはいえ、「ご苦労様でした」で済む話ではないと思う。仕事を休んで活動していただく場合もあるのだから、団員確保等の観点からも処遇の改善を考えるべきではないか。**

答 北播磨地区を見ても、加東市が突出して低い額である訳ではなく、加東市では近隣にはない分団単位での手当も交付している。大きな組織に対する課題でもあり、処遇改善については総合的に考えて行きたい。

その他の質問

□水道未普及地に対する対応について

消防出初め式

議会日誌《主なもの》

4月

5日 議会広報特別委員会
6日 総務文教常任委員会
7日 議会運営委員会
　　先進地視察
11日 議会運営委員会
12日 議会広報特別委員会
12日 近畿市議会
　　議長会定期総会
13日 東播・淡路市議会
　　議長会定例会
19日 議会広報特別委員会
19日 全員協議会
22日 厚生常任委員会
22日 議会運営委員会
27日 産業建設常任委員会

5月

13日 厚生常任委員会
19日 議会報告会
21日～ 議会報告会
23日 議会運営委員会
25日 兵庫県市議会議長会総会

6月

2日 第36回定例会（1日目）
3日 総務文教常任委員会
6日 産業建設常任委員会
6日 議会広報特別委員会
9日 厚生常任委員会
9日 庁舎整備等検討
　　特別委員会
13日 第36回定例会（2日目）
15日 全国市議会
　　議長会定期総会
17日 議会運営委員会
21日 総務文教常任委員会
24日 議会広報特別委員会
27日 第36回定例会（3日目）
27日 全員協議会
27日 議会運営委員会
30日 議会広報特別委員会
30日 北はりま消防組合議会

学校紹介

加東市立福田小学校

加東市内の各学校の取り組みや特色などを紹介します。今回は加東市立福田小学校です。

本校は、明治9年開校以来、本年で135周年を迎えました。

当時は、児童数430名で、兵庫県下第9番目の大規模校であったようですが、現在は、129名と減少しました。

しかし、「生きゆくめあて　たかくもち」と、校歌にも謳われているように、常に時代の要請に応え、有為な人材を輩出してきました。児童は、素直で明るく、地域の方々に見守られながらのびのびと学校生活を送っています。朝はスキルタイムで漢字や視写をやり、学習の基礎づくりを、福田カップで体力づくりや仲間づくりを、読書タイムで豊かな情操づくりを目標にがんばっています。

また、校庭は、大きな樹木やきれいな花で彩られ、学校の南には、平池公園があり、子ども達の憩いの場となっていると同時に、大切な環境学習の場ともなっています。

「しなやかに　たくましく　自らを切り拓く　福田っ子」を学校目標に掲げ、今後も、伝統と誇りを大切にし、知・徳・体のバランスの取れた福田っ子の育成に努めていきます。

平成23年7月1日現在の児童数

	男　子	女　子	合　計
1学年	14人	5人	19人
2学年	11人	6人	17人
3学年	14人	9人	23人
4学年	10人	8人	18人
5学年	17人	8人	25人
6学年	11人	16人	27人
合　計	77人	52人	129人

議会の傍聴にお越しください。
加東市役所社庁舎3階に議場があります。

9月定例会の予定

9月	2日（金）	9時30分	議案審議
9月	15日（木）	9時30分	一般質問
9月	22日（木）	9時30分	議案審議

詳しいことは議会事務局までお問い合わせください。
ホームページ http://www.city.kato.lg.jp　　電子メール gikai@city.kato.lg.jp

編集後記

観衆のいない議会

「見る目を持った観衆がいないと、いい役者が育たない」とは舞台芸術についてよく指摘されることですが、同じことが議会でも当てはまるのではないかと思っています。

議場という劇場で、議員という役者が政策の可否について、討論を展開して見せ、争点や論点を伝えるとともに、結果として決まるべき様に決まった。という世論の納得を得ることが、議会の本質的な機能であると指摘されている。

舞台人も議会人も観衆との生のコミュニケーションの中で役割を果たすのである。

全国の自治体議会には、果たして見る目を持った観衆がいるだろうか。地方議会ではしばしば夜間議会や休日議会の開催を試みる議会もあるが、せっかく傍聴しやすいように環境を整えても、さっぱり傍聴者が増えないということを聞く。いい観衆がいないから、いい議会が育たないのか、議会が面白くないから観衆が集まらないのか。悪循環に陥っているのが現実なのかと思ってしまう。

厳しい目で見ながらも、優れた部分を見出し、それを評価してもらえる批評者の存在が、議員や議会の能力の向上には欠かせないと思っております。

「議会だより」をご覧いただき、一人でも多くの皆さんに批評者として参加して頂けるよう努めてまいります。

（Y・F）

議会広報特別委員会

委員長　志方　勉
副委員長　石井　正敏
委　員　藤田　靖夫
二階　一夫
桑村　繁則
安田　朗
小川　忠市
石井　雅彦

発行　加東市議会
編集　議会広報特別委員会

〒673-1493
兵庫県加東市社50番地
TEL0795-43-0385（直通）　FAX0795-42-7960